

会議の経過

露木課長	<p>1 開会</p> <p>皆様、おはようございます。定刻より若干早いのですが、皆様お揃いですので、只今から平成 29 年度第 1 回大井町総合教育会議を開催いたします。本日、司会を務めます総務安全課長の露木と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは早速、次第に沿って進めてまいります。</p> <p>「次第 2 町長あいさつ」間宮町長よろしく願いいたします。</p>
間宮町長	<p>2 町長あいさつ</p> <p>改めまして、皆様おはようございます。日頃は町政の運営、並びに町の教育行政の推進に御尽力をいただいておりますこと、この場を借りてお礼を申し上げます。また、本日は、今年度第 1 回の総合教育会議に教育委員全員の御出席をいただきまして、心より感謝申し上げます。本来であれば、10 月中の開催を予定していたところであったわけですが、皆様も御存知のとおり、急遽、衆議院議員総選挙が執行されることになったため、開催を見送らせていただいたというわけですし、この辺りのことは御理解を賜りたくお願いするところでございます。</p> <p>さて、新内閣が発足し、教育の無償化が内閣の方針として決まりました。これは、大変喜ばしいことであると思っておりますが、反面この政策に必要な財源をどのように確保するのかという問題に直面することが予想されるところであり、この無償化の恩恵に与る子どもたちに、大きな借金を残すことにならなければよいと願うところです。また、その他にも教育を取り巻く課題は、日々増え続ける状況にあり、課題解決に向けた政治手腕が期待されることであることを踏まえますと、こういった協議の場で教育のあるべき方向性を見出していくことが非常に重要であると思っております。本日協議いただく内容も、教育を取り巻く現状や課題として、今まさにクローズアップされているものであらうと思っておりますので、是非、忌憚のない意見をお聞かせいただき、町の教育の課題解決につなげて参りたいと考えております。限られた時間ではございますが、よろしくお願い申し上げます。私からのあいさつに代えさせていただきます。</p>
露木課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>さて、本日の出席者につきましては、御手元に配布させていただいております「総合教育会議構成員名簿」のとおりとなっておりますが、本年 10 月 1 日付けで夏苺教育長が再任されたことに伴いまして、教育委員会の体制が、いわゆる新体制に移行いたしました。具体的には、</p>

	<p>教育長が一般職から特別職に変更され、教育委員長という職が廃止されました。また、委員長職の廃止に伴いまして、自動的に委員長職務代理者という職もなくなり、代わりに教育長職務代理者という職が設置されました。こちらの職には10月3日付けで石井委員が就任されております。なお、本日の協議・調整事項の内容に配慮いたしまして、生涯学習課から浅井社会教育主事にも出席していただいておりますので、御承知のほどよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、「次第3 協議・調整事項」に移ります。大井町総合教育会議運営要綱第2条第1項の規定によりまして、議長は町長となりますので、これからの進行は間宮町長にお願いいたします。</p>
間宮町長	<p>はい。規定に基づき私が議長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。なお、会議の性格上、私からも意見を述べさせていただく機会があるかと思っておりますので、御了承いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは協議・調整事項(1)「教員の働き方改革に向けた取組について」を協議したいと思っておりますので、事務局から解説をお願いします。</p>
	<p>3 協議・調整事項 (1) 教員の働き方改革に向けた取組について (※資料及びパワーポイントで、教員の働き方改革に向けた取組の概要について解説した。)</p>
石井課長	
間宮町長	<p>只今、教育総務課長から教員の働き方改革に向けた取組に関する説明がありました。これにつきまして、委員の皆様から、御質問や御意見等がありましたら御発言いただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。</p>
中條委員	<p>今年度から、校務支援システムを導入したわけですが、具体的にどのような校務の支援になっているのかということと、学校の受け止めについて分かる範囲で教えてください。</p>
石井課長	<p>校務支援システムを導入したことにより、いわゆる成績処理や指導要録の作成業務の負担が軽減されました。また、導入したシステムについては、先駆的に導入した近隣の市などの状況を踏まえた中で、教職員の負担なども考慮して選定したという背景があることから、いわゆる広域的な人事異動などがなされても、対応できるものであるという部分で負担軽減につながっていると考えております。なお、学校長などからは、作業にかかる時間が短縮されたという報告を受けてお</p>

	<p>りますので、学校でも今回の導入は効果が大きかったのではないかと 思っております。ただ、システムを運用する上で、パソコンのスペック が追いついていない部分があるようですので、こちらは順次更新し てまいりたいと考えております。</p>
夏苺教育長	<p>補足になりますが、そのほかにも児童や生徒の出席状況なども管理 できまして、最終的には先ほど課長が説明した内容などと合わせて通 知票に反映されるといった仕組みとなっております。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
石井教育長職務代理者	<p>児童や生徒の中には、いろいろな事情により学校に来られない子ども たちや学校での行動や態度に問題がある子どもたちがいるわけ で、そういった子どもたちの対応としての家庭訪問件数などが増えて いるということを聞いているのですが、こういった悩みの根底には、 少なからず家庭の問題が影響を与えているのではないかという印象を 持っております。つまり、先生と子どもという構図だけで対応するの ではなく、例えば母子家庭や生活保護などの支援を行っている役場の 組織などと連携した対応が必要なのではないかと思うのですがいかが でしょうか。</p>
橋本課長	<p>現在、子育て健康課において要保護児童に対する指導を行っており まして、対象となる子どもが籍を置く学校の学校長や担任のほか、保 健師や社会福祉士などが関与して、ケース会議を持ち対応している ところです。</p>
夏苺教育長	<p>教育委員会としましても、学校内にスクールカウンセラーやスクー ルソーシャルワーカーといった専門家を配置して、いわゆる子ども たちの SOS に対応できる環境を整えております。しかしながら、そう いった案件の中核を担うのは、やはり学校や担任であるということは 否めませんが、そういった方々との連携した対応がなされているとい うことが実情となっております。</p>
間宮町長	<p>日本の子育ての特徴として、学校、地域、家庭が連携した子育てと いうものがありまして、確かに学校が家庭に入り込まなければならない 状況があることも理解できるのですが、近頃の学校の対応などを見 てみますと、家庭が学校に依存しすぎてしまっていないかという懸念 があります。これは教員の働き方という側面からいたしますと、ど こかで学校と家庭を切り分けることが必要であろうと思うのですが、反</p>

	<p>面、子育てという側面から考えると簡単には切り分けられないということも理解できますので、非常に悩ましい課題であると思います。特に、都市部の学校の教員などはこういった対応に追われ、深夜まで働いている教員が多いと聞いております。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
牧野委員	<p>民間企業などには、いわゆる三六協定というものがあつて、そこで時間外労働の制限に一定の効力が効いているのですが、学校の先生たちにはそういった仕組みがあるのでしょうか。</p>
夏苺教育長	<p>教職員についても、労働基準法の規定があてはまるわけですが、その職務の特殊性に鑑みたいいわゆる特例措置というものがあつて、基本給の4%にあたる教育調整額という手当を支給する代わりに、残業手当の支給はしないというもので、なおかつ教師が受け持つ業務のうち4業務に限っては、学校長が時間外勤務を命令できるというものがございます。ただ、こういった環境では時間外勤務の実態が見えづらくなってしまふことになりますので、三六協定の主旨を認識した中で対応してもらつております。</p>
中條委員	<p>かつて学校の文化は非常識だという風潮があつたわけですが、その頃は、長く学校にいる教師が熱心な教師といった感覚を誰もが持っていたと思われまふ。今は、早く退勤する教師が仕事の出来る教師という認識に変えていかなければならないと思うのですが、個人的には今も、いわゆる教育の不易流行の不易の部分は必要であらうと思ひます。これは、勤務時間のことではないのですが、総じて学校にはそういった独自の文化があるのではないかという印象があります。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
中條委員	<p>先ほどの意見と関連するのですが、学校の教師には色々な教師がいるわけであつて、仕事が出来た教師もあれば、仕事が遅い教師もいます。しかし、組織な訳ですから、教師同士が助け合う土壌が大事ではないかと思うところであつて、ですから、仕事に行き詰つてしまつた教師の声を拾ひ上げたり、聞いてあげたりする仕組みづくりが今後は必要になつてくるのではないであつてしょうか。</p>
夏苺教育長	<p>そういった意味で、各校長にはいわゆる風通しのよい職場づくりを念頭に置いた中で、各校の状況に合わせた独自の取組をお願いしてい</p>

	<p>るところなのですが、それと同時に業務を見直して簡素化したり廃止したりしていくことも大事であると考えております。これについては、もっと根本的な部分にメスを入れる必要があると思っております。加えて教職員自身の意識改革も重要でありまして、そういった多方面からの改革に取り組むとともに、休みを取りやすい状況ですとか早く退勤する風土などを作り上げていかなければならないと思っております。</p>
小島委員	<p>やはり教師の皆さんは、教師ならではのやりがいを感じる場所があると思います。そうすると、更に授業の準備に力を入れようという気持ちになったり、どのような学級経営をしていったらよいのかということを実際に考えるようになったりして、そういったことに時間をかけるようになってくるのではないかと思います。そういう状況から、例えば、教師同士による教材の共用ですとか、学習指導に関する相談などが自然となされるようになって、何に時間をかけて何を簡素にしたらよいのかということが分かってくるのだと思います。</p>
間宮町長	<p>ところで教師の職務というのは、非常に漠然としているのではないかと印象があるのですが、その辺りはどうでしょうか。人事評価なども数字的に判断することは非常に難しいように感じているのですが、雇用契約的な表現で何か明確に職務が示されているようなものがあるのでしょうか。</p>
夏苺教育長	<p>教師にまず求められるのは、当然子どもたちに必要な学力を身につけさせたり人格形成に必要な学びを指導したりするということが挙げられます。その他にいわゆる校務分掌として1教師に2から3の事務が割り当てられています。しかし、先ほどから話題に出ている家庭との連携という部分については、明確に範囲などが示されているわけではないので、実務的にはグレーな状態であると言わざるを得ません。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
石井教育長職務代理者	<p>部活動の指導を外部指導者に委ねるということについて、本来、部活動で学ぶべきことが、忘れ去られてはいないかという懸念があります。単純に強くなりたいという欲求を満たすのであれば、クラブチームなどに所属するといった選択肢もあるわけですが。学校で部活動に励む意味というのは、先生との信頼関係を深めたり、相手を思いやる気持ちが育まれたり、成績の向上にもつながるものがあるように思っています。私も中学時代を振り返りますと、部活動で得たものは非常に</p>

<p>中條委員</p>	<p>大きかったと感じております。</p> <p>冒頭の課長の説明にもありましたように、週 60 時間以上の残業の割合が、中学校は小学校の倍以上となっております。この要因は、やはり部活動が大きいと思うのですが、教師の中でも部活動に熱心に取り組まれている教師もいらっしゃいますし、そうでない教師もいるわけですので、前者については恐らく部活動のための残業は苦になっていないのではないかと推察します。後者については、自分のやりたい部活以外の顧問をお願いされたりすることでモチベーションがうまく保てず部活動による残業が苦になっているのではないかと思います。この辺りは、先生同士の助け合いで乗り超えていただきたいという希望的な思いもあるのですが、部活動の休養日などについても考慮する必要があるのではないかと感じております。これは、教師の勤務時間に配慮するだけでなく、子どもたちの健康面を考慮して必要なことではないかと思っております。それから、1 点お尋ねいたしますが、今、学校の閉庁日というのが全国的に話題になっているのですが、大井町では何か計画みたいなものがあるのでしょうか。</p>
<p>石井課長</p>	<p>部活の休養日については、現在、月 1 回ということで実施しているところですが、やはり休養日の効果を更に挙げていくのであれば、週 1 回程度が望ましいのではないかと考えるところで、学校長も徐々に改善していきたいとおっしゃっております。また、長期休業中の学校閉庁日につきましては、教職員の心身の負担を軽減するためにも、どこかで切り離さなすことが必要になってくるであろうと思っております。まだ、具体的なものをお示しすることはできませんが、検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>夏苺教育長</p>	<p>自分の得意としない分野で部活を任されるケースというのは過去からあったのですが、そういった時の部活に対する教師の姿勢が変わってきておまして、部活動が教育課程外の活動になるということからも、基本的には本人の考え方を尊重することになるのですが、そういった背景があって外部指導者の話題などもよく聞くようになってきたわけです。ただ、この外部指導者を導入したことによる弊害も出てきておまして、例えば部活動中のトラブルの対応や、指導者の指導方針と学校経営方針の温度差などに苦慮しているところもあるようです。そういったことから、この部活動を取り巻く課題というのは非常にデリケートな側面があるように思っております。それから、部活動の休養日については、こちらも時代の流れで生まれた問題であろうと思うのですが、子どもの立場に立ったときに健康面についての議論</p>

	<p>がなされているということも事実でございます、本町の中学校でも月 1 回の休養日を設定しているところなのですが、先生によっては部活動の様々なスケジュールをこなす上で、なかなか理解してもらえないところもあるように聞いております。また、学校閉庁日については、課長の説明にあったとおり、会議などで検討を進めている状況にありますので、来年度からこの検討結果に沿って対応していきたいと思っております。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
間宮町長	<p>ところで、教師の出勤時間や勤務時間、休憩時間というのは、どのようになっているのでしょうか。特に、中学校などは、やはり部活動の関係だと思っておりますが、朝早く登校する生徒などを見かけたりすることも少なくないので、その辺りはどのように運用されているのか教えていただけますか。</p>
夏苺教育長	<p>勤務時間については、7 時間 45 分という設定になっております。出勤時刻については、小学校が 8 時 15 分で中学校が 8 時となっており、勤務終了時刻は小学校が 16 時 45 分、中学校が 16 時 30 分となっております。休憩時間については、小・中とも 45 分間となっております。休憩時間の取り方については、45 分まとめてとることが学校運営上厳しいものですから、どこの学校も 2 分割にして休憩をとっているといった状況です。中学校では、給食の時間も休憩時間として取り扱われております。</p>
間宮町長	<p>給食の時間も休憩に含まれるということですが、個人的にはもはや給食も授業の一環ではないかという思いがあって、若干違和感を覚えるのですがいかがでしょうか。</p>
夏苺教育長	<p>給食の時間が休憩扱いとなるのは、担任以外の教師となります。そうは言いますが、なかなか取れないというのが実態であるように感じております。</p>
間宮町長	<p>分かりました。やはり先生たちの勤務時間と休憩時間を明確にすることは難しいようですね。出勤時間と先生が教壇に立つ時間は別になっているという理解でいいですか。</p>
夏苺教育長	<p>そのとおりです。</p>

間宮町長	先生の仕事ぶりもだいぶ変わってきていると感じます。最近、教室中を歩き回りながら学習指導している先生が多くなってきて、体力的にも消耗が激しい仕事であるように感じています。
間宮町長	他に、御質問や御意見などはありませんか。
夏苺教育長	改革に向けた今後の取り組みということでは、教育委員会でも協議を重ね、先生方の働きやすい職場環境にしていければと思うところです。加えて、各学校長とも認識を共通にした中で協力を求めてまいりたいと考えております。
間宮町長	私といたしましては、改善に向けて努力をしていかなければならないというスタンスが大事なのであろうと考えるところです。やはり、改善を義務的なものにするには教育の大改革を行わなければ解決できない課題があまりにも多すぎると感じております。しかしながら、人を育て、よき社会人となる礎を築くためには先生方にお骨折りいただかなければならないことも事実でございますので、この辺りのバランスをとることが必要なのであろうと思っております。それと同時に、夏季休業期間中の休暇取得を推進していくよう努めてまいりたいと思っておりますので、私から教育委員会にお諮りするなど然るべき対応を取らせていただきたいと考えております。先生方に多少ゆとりを持っていただくことで、よりよい教育が進められる環境づくりに努力してまいりたいと思っておりますので、引き続き教育委員会の御協力を賜りますようお願いいたします。
間宮町長	この件につきましては、この辺りで協議を終了したいと思っておりますが御異議ございませんか。 ～異議なし～
間宮町長	御異議もないようですので、次の協議・調整事項に進みます。 (2)「学校給食の取組について」を協議したいと思いますので、事務局から解説をお願いします。
橋本所長	(2) 学校給食の取組について (※資料及びパワーポイントで学校給食の取組の概要について説明をした。)
間宮町長	只今、学校給食センター所長から学校給食の取組に関する説明があ

	<p>りました。これにつきまして、委員の皆様から、御質問や御意見等がありましたら御発言いただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
間宮町長	<p>今、野菜が高騰しているようですが、その辺りで町内の農家の動きや、供給に影響は出ていませんか。</p>
橋本所長	<p>昨年度は天候不良による野菜の高騰から、地場産を使用することができず県内産を使用したということがございました。給食費との兼ね合いがあるため、そうせざるを得ないという状況がございます。</p>
間宮町長	<p>生産者は、高騰すると市場に出荷するほうが儲かるという発想になるでしょうから、給食センターとしてはこういった天候不順にあっては食材の調達に大変苦労されているのではないかと推察いたします。</p>
夏苜教育長	<p>栄養士によりますと、状況によっては食材を変更するなどして対応しているとのこと。例えば、ほうれん草が高いときは小松菜に変更するといった対応をしております。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
石井教育長職務代理者	<p>9月に報道がなされたように、大磯町の給食の残食量の多さということが問題になったわけですが、私も学校給食センター運営委員を務めておりますので、給食に対する保護者や先生の思いに触れることなどがありまして、子どもたちの舌に合ったものを提供するのが給食ではなく、食卓には馴染みのないようなものを食べる機会としての意義が非常に大切であるという声を聞いております。確かに残食量が増えてしまう結果になってしまうかもしれませんが、食育を推進していくこととのバランスが重要であろうと感じております。また、給食センターは、各年齢に応じた食べやすさなどにもしっかり配慮されていて、ありがたいことであると感じております。</p>
橋本所長	<p>やはり家庭での食育というものが、色々な意味で実践しにくい状況にあると感じております。そのため、栄養教諭も授業として食育を推進しているところですが、特に体験的なことに力を入れておりまして、新しい食材との出会いや収穫体験などが食育の大事な要素であると思っております。</p>
間宮町長	<p>今の大人は、食に関しては子どもの欲しがるものを与えすぎているということがあるかもしれませんね。それだけ恵まれているというこ</p>

	<p>となのでしょうか、少子化ということもこれに拍車をかけているのではないかと考えるところです。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
小島委員	<p>給食だよりが大変工夫されていると感心しております。特に、家庭において親子で料理する機会が作られるような仕掛けがあって、私は大変好感を持っているのですが、保護者の反応はいかがでしょう。それから、地場産の野菜を給食に使っているということで、生産者のことが給食だよりで紹介されているのですが、そこから生産者と子どもたちとのコミュニケーションが活発になって、生産者も喜んでいると聞いております。そういった生産者の声などは届いておりますでしょうか。</p>
橋本所長	<p>PTA の試食会の時に行っているアンケートなどを見ますと、多くの方が給食だよりを見ているという状況が確認できました。また、レシピを教えて欲しいといった問い合わせもなどございます。地場産の関係については増刊号を発刊しているのですが、特に生産者の顔が分かるようにレイアウトを工夫したり、総合的な学習の時間の教材に使ってもらったりしたことが、多くの子どもたちに生産者のことを知ってもらうことに繋がったのではないかと考えております。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
中條委員	<p>本町でも朝食を食べないで登校する子どもが多いという調査結果を以前拝見したのですが、やはり色々な家庭での食における課題というもの考えたときに、学校給食の果たす役割は非常に大きいと認識しております。そういったことを踏まえましても、給食だよりはよく工夫されていると感心しております。ところで、給食だよりには月の献立が掲載されているのですが、そこを見ますと本町の米飯の割合が他と比べて多いように感じるのですが、その意図というのはどういったものなのでしょうか。それから、米飯が多いことに対して保護者からは何か意見などありましたか。</p>
間宮町長	<p>米飯を中心としたのは、私の指示もあるのですが、やはり小麦粉は輸入品に頼らざるをえないものでありますから、国産の米を使用すべきであろうということと、まさにこの周辺が穀倉地帯でありますのでそういった考えに基づいたものです。</p>

中條委員	和食を食べる機会が減りつつある時代でもあるので、そういった意味では私も米飯を中心とする献立には賛成です。
間宮町長	願わくは、町内で取れたお米を全面的に使っていただくとありがたいと思うところです。ただ、給食用の米は一般的に安く買われるので、生産者からすると不利益になってしまうわけですし、そういったことから県内では給食用の米が不足しているという状況があるようです。個人的には、多少仕入れ値が高くても、大井町産の米を食べてもらって、少しでも愛町精神が養えたらよいと願うところです。
橋本所長	現在、週5日のうち4日が米飯で、1日がパンとなっております、月に1回、パンの日を麺にしております。ですから、麺については評判もよいといった状況です。通常使用しているお米は、JA西湘が給食会を通じて納品してくださっているものでして、その中には大井町産のものも含まれているということになるのですが、2月と3月の2ヶ月間だけは、関係事業者の協力と理解を得て、大井町産を使うことができております。なお、11月から新米が提供されております。
夏苺教育長	以前から米飯と牛乳の組合せについて議論がなされているところなのですが、やはり牛乳の代替品というのは栄養価などを踏まえると見当たらないうので、今でも牛乳が提供されているといったところです。
間宮町長	他に、御質問や御意見などはありませんか。
間宮町長	今後の給食で難しくなってくるのは、アレルギー対応ではないかと思えます。当然、アレルギーを有する子どもたちに配慮した取り組みというものは必要なのですが、同時にアレルギー反応を起こさないような体づくりにも目を向ける必要があるように思います。これは食物連鎖による要因が大きく関わっているのではないかと考えるのですが、そういった食との密接な関係を食育の中で教えることが大事だと感じております。このままアレルギーを有する子どもたちが増え続けてしまうと、学校給食の崩壊に繋がりがねないという懸念があります。
間宮町長	他に、御質問や御意見などがなければ、この件につきましては、この辺りで協議を終了したいと思いますがいかがでしょうか。 ～異論なし～
橋本委員	それでは、協議すべき事項もひととおり終わりましたので、進行を

露木課長	<p>司会に戻したいと思います。ありがとうございました。</p> <p>4 閉会</p> <p>長時間にわたり、熱心な御議論をいただきありがとうございました。次回の総合教育会議は、来年 2 月頃を予定したいと考えておりますので、引き続き御協力いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、これをもちまして、平成 29 年度第 1 回大井町総合教育会議を閉会させていただきます。お疲れ様でした。</p> <p>閉会時刻 10時40分</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------